



AI時代のデータ基盤戦略 とサイバーレジリエンス

2026年 4月 14日

Everpure

システムズエンジニアリング本部

村山 雅彦

Pure Storage is now Everpure™

2026年 2月 23日

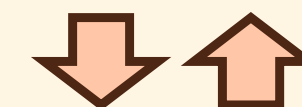
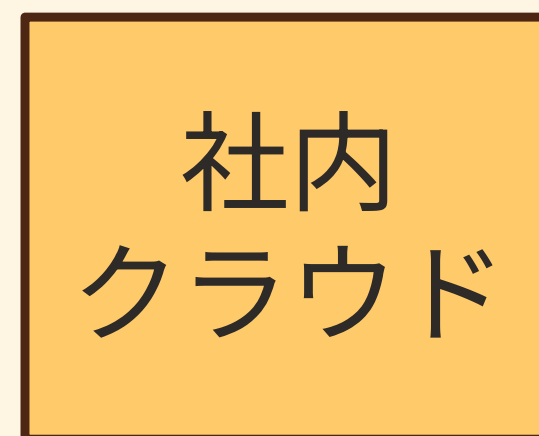
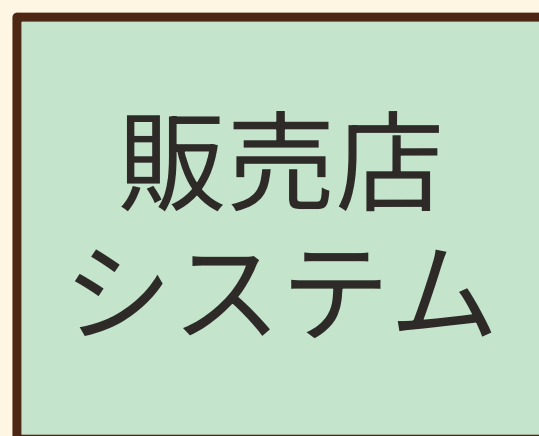
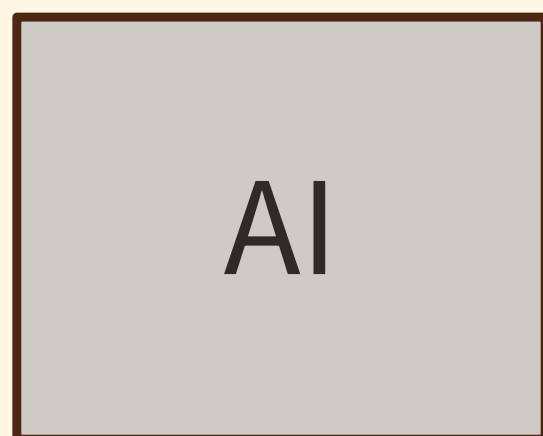
ストレージおよびデータ管理の革新を牽引するピュア・ストレージ (NYSE: PSTG) は社名を Everpure™ に変更することを発表しました。

データの持つ力を最大限に
解き放てるようお客さまを
支援し、進化してきた当社
のアイデンティティ

当社のエンタープライズ・
データ・クラウド(EDC)
アーキテクチャの力や
Evergreen の柔軟性が反映



Everpureは何の会社？



データを統合的にマネージメントしながら
安全・確実に格納できる仕組みを提供 = Enterprise Data Cloud



DataStream



FlashBlade



FlashArray



データを AI-Ready にするために

データ主権と「知見を外に出すな」という前提

81%

生成 AI の拡大で「データをローカルに置く必要が高まっている」と回答した企業



自社の知見の塊である AI 学習用データは、ローカルに置くのが大前提に

個人情報保護法
や GDPR の要件

海外に個人データを出すときは
「説明・契約・モニタリング」が必須



海外クラウドに出すと、コンプラ・監査の
“運用コスト”が一気に増大

「自社の知見 = 出せないデータ」と「出すとコストが跳ね上がるデータ」
を前提に、インフラを設計する必然性が向上

Enterprise Data Cloud 戦略の真価： AI 活用を支えるデータ基盤の在り方



統合 AI ソリューション

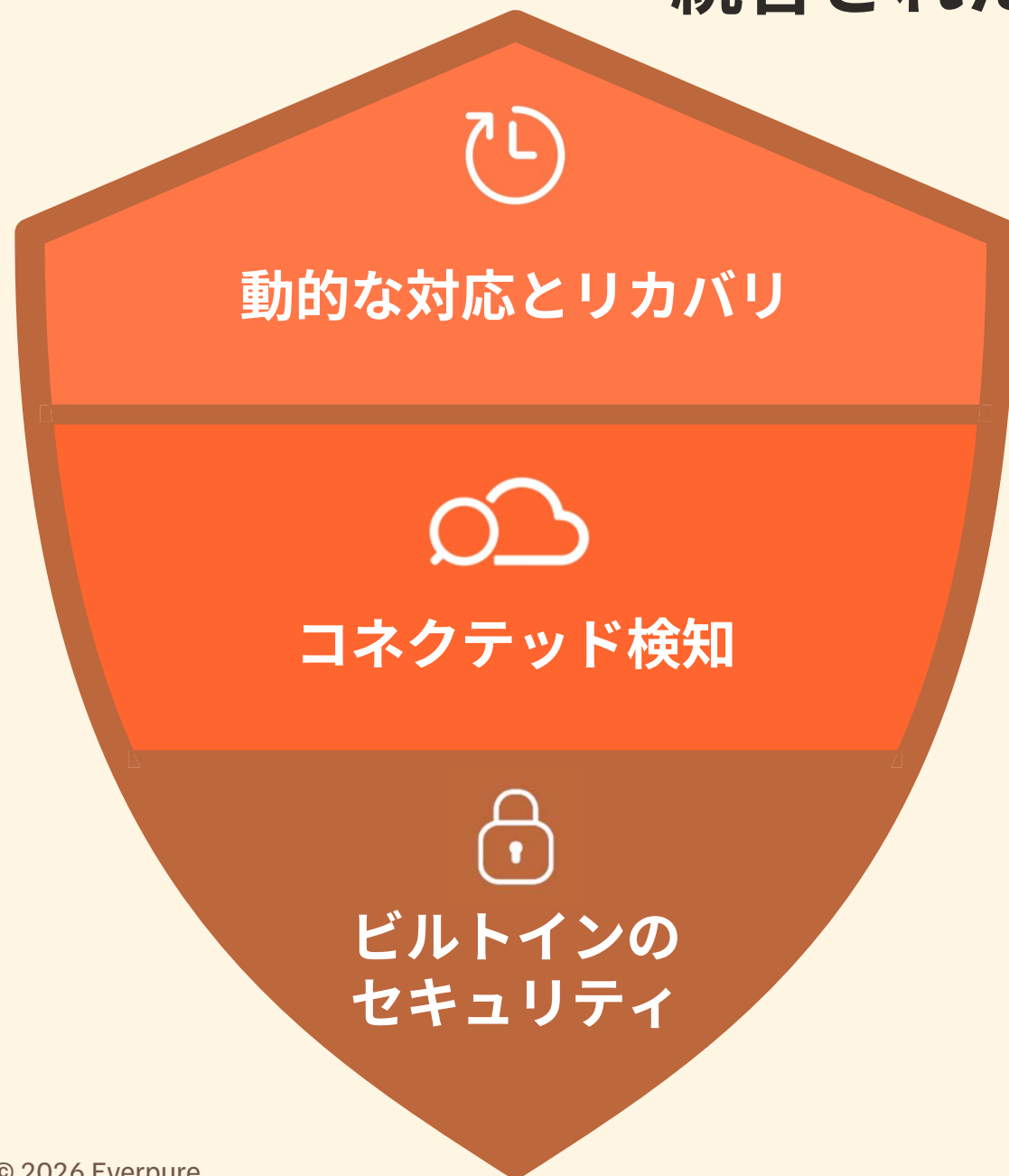




Cyber Resilience

Everpureの サイバーレジリエンス・ソリューション

統合された仕組みでビジネスを守る



動的な対応とリカバリ

復旧時間を「数分～数時間」に短縮

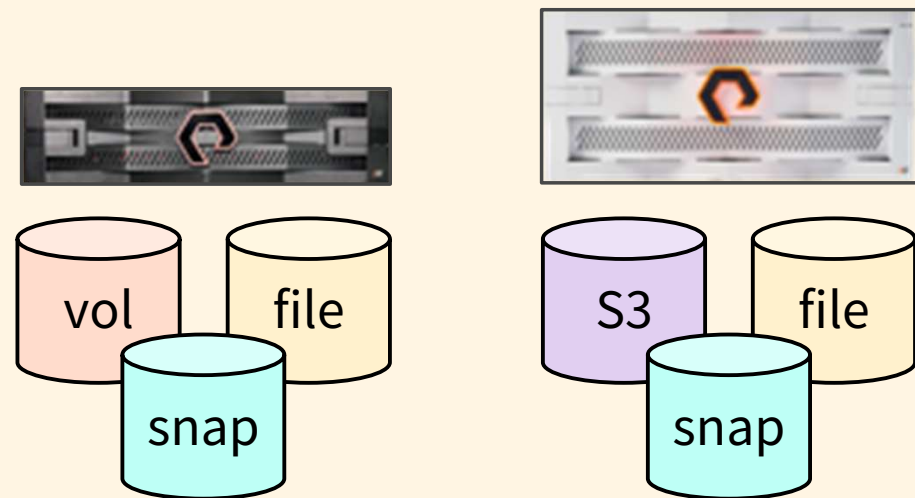
コネクテッド (連携型) 検知

他社のセキュリティソリューションと連携し
迅速かつ正確に検知

ビルトインセキュリティ

追加コスト不要で最高レベルの安全性を提供

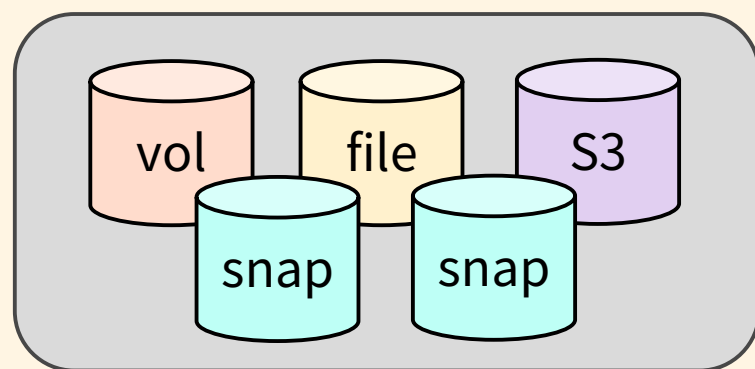
標準機能でランサムウェア対策: SafeMode



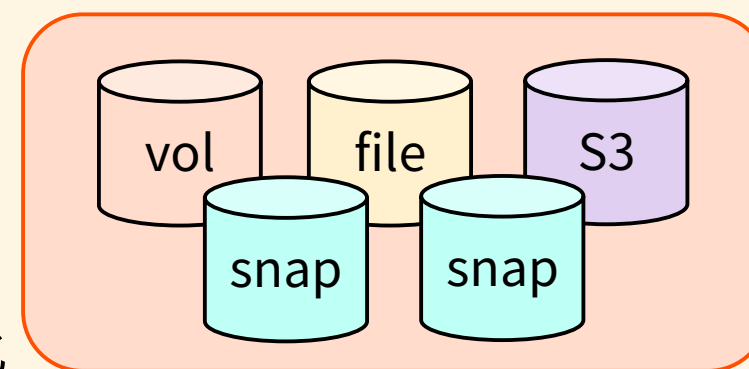
ランサムウェアによりストレージ管理者
権限が奪われてもストレージ内の
データを 100% 保護

↓
「イミュータブルな領域を提供」

- 削除されたオブジェクトは Destroyed Objects で一時的に保持
- その後、オブジェクトは完全に削除され、容量を解放



SafeMode
機能を有効化



- 削除されたオブジェクトを
1日だけ保持
- ユーザ操作で削除可能

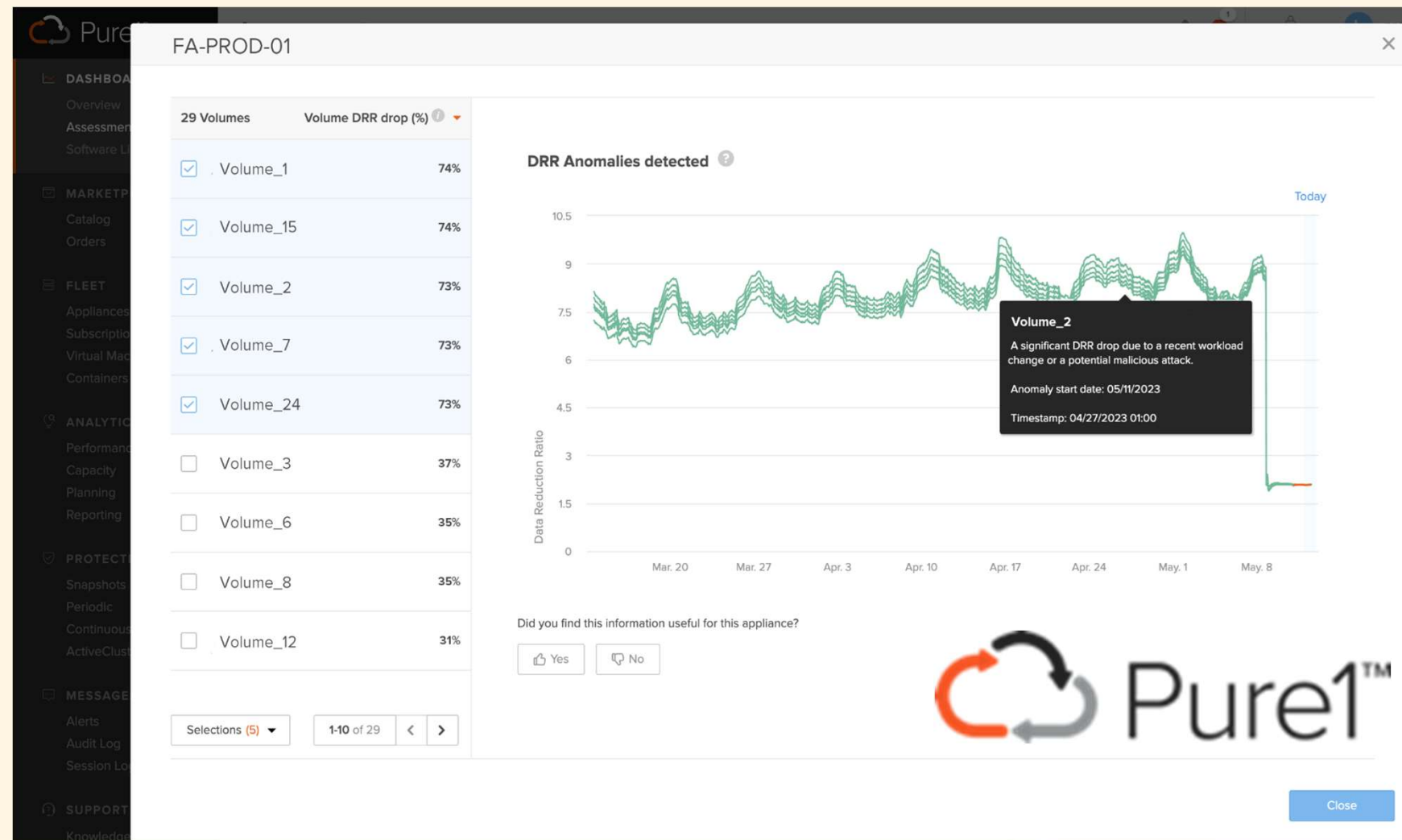
- 削除されたオブジェクトを
指定した期間 保持
(FA: 最大 30 日、FB 最大 400 日)
- **管理者権限でも削除不可**

データ削減率（DRR）の異常検知

復旧ポイントをいち早く特定して、データ損失を最小化

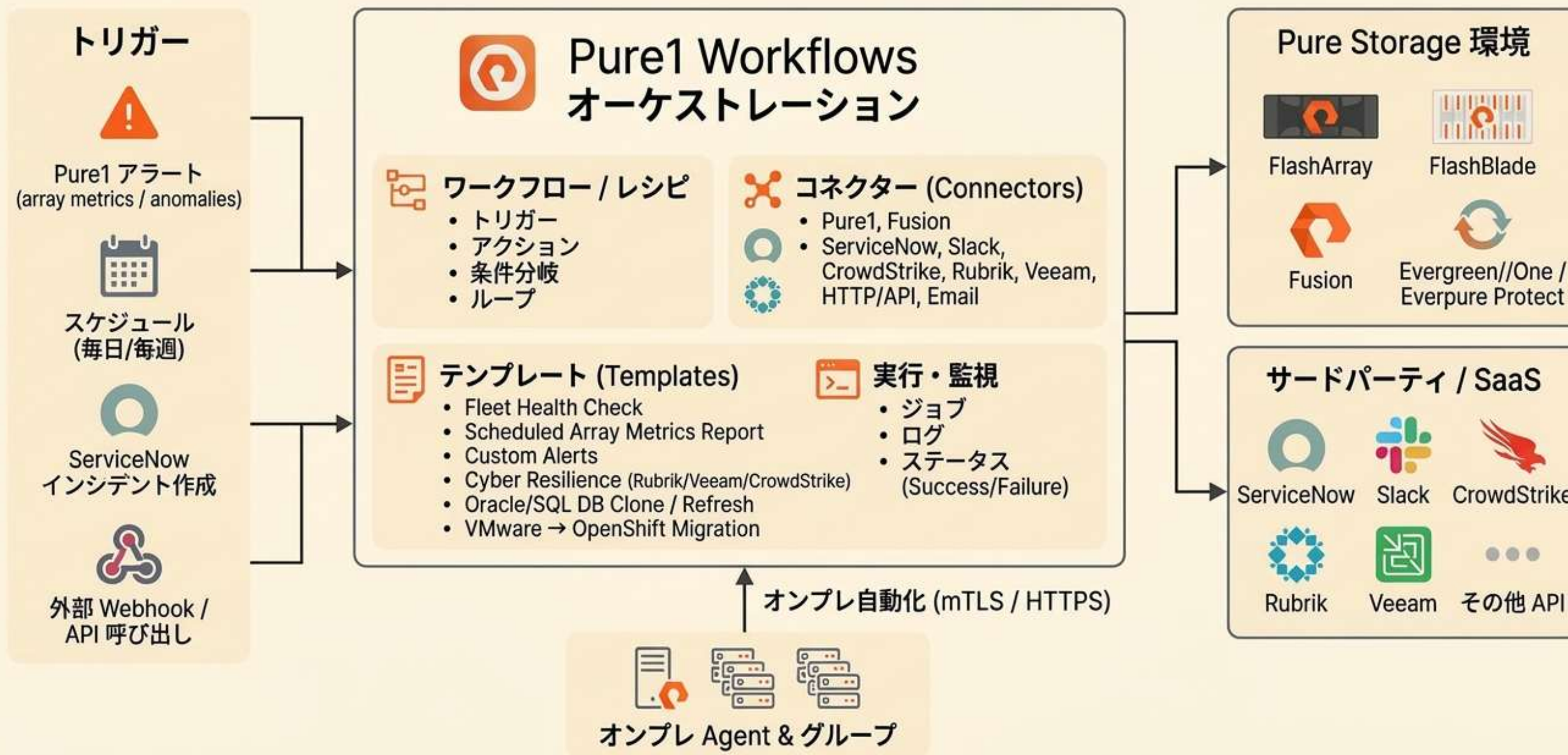
データにおける重大な変化を把握するためのインサイトを提供

- DRRの急変をもたらすデータ構造の顕著な変化を容易に識別（例：データの暗号化）
- どのボリュームが影響を受けたか、異常がいつ発生したかを把握
- 目標復旧時点（RPO）を速やかに特定し、リカバリを迅速化
→ 憶測による判断を排除し、データ損失を最小化



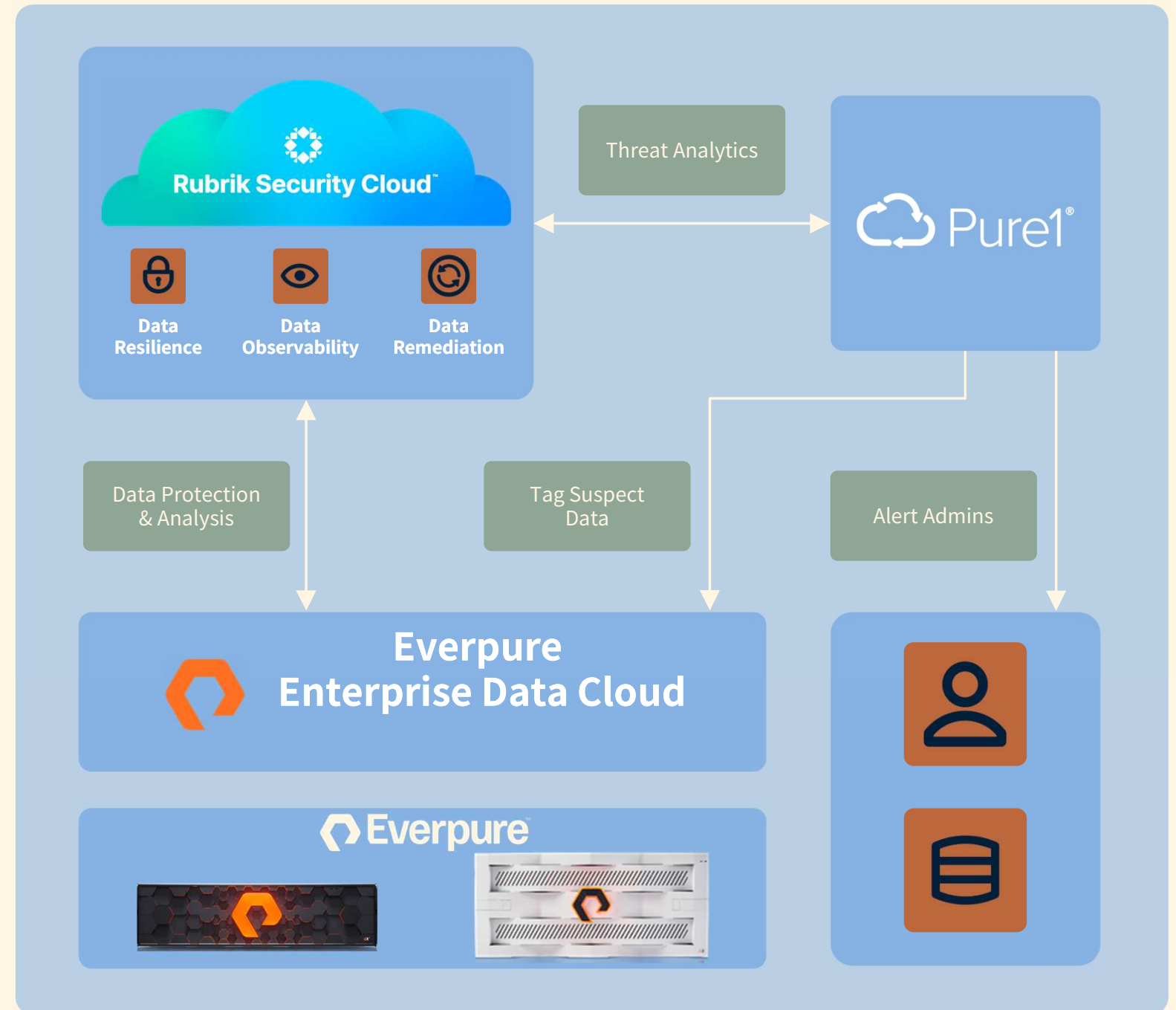
普段と異なるふるまいを検知したら通知可能に

Pure1 Workflow Orchestration イメージ



Pure1 Workflow Rubrik 連携

- SafeMode スナップショットからクリーンデータを即座に確定
- Rubrik 脅威分析の結果を FlashArray のボリュームおよびスナップショットにタグ付け
- 数百 TB のクリーンデータを「ほぼゼロ RTO」で即時復旧





PURESTORAGE Storage

Array Presets Workloads Hosts **Volumes** Pods Servers File Systems Policies

> Volumes > vol-8049dc22-storage1-0001-7dq9q

Size	Virtual	Data Reduction	Unique	Snapshots	Total
10.00 G	0.00	1.0 to 1	0.00	0.00	0.00

Connected Hosts ^

Name	LUN
No hosts found.	

Connected Host Groups ^

Name	LUN
No host groups found.	

Protection Groups ^

Name
No protection groups found.

Volume Snapshots ^

General Transfer **Rubrik** 1-5 of 5 +

Name	Created	Tags
vol-8049dc22-storage1-0001-7dq9q.snap5	2025-07-07 13:26:54	Rubrik anomaly As of May 9, 2025 https://www.example.co... Rubrik quarantined As of May 9, 2025 https://www.example... testkey1 testvalue1 testkey2 testvalue2 testkey3 testvalue3
vol-8049dc22-storage1-0001-7dq9q.snap4	2025-07-07 13:15:01	
vol-8049dc22-storage1-0001-7dq9q.snap3	2025-07-07 13:14:58	
vol-8049dc22-storage1-0001-7dq9q.snap2	2025-07-07 13:14:55	
vol-8049dc22-storage1-0001-7dq9q.snap1	2025-07-07 13:14:52	

Destroyed (0)

Details

Source -

Created 2025-07-07 13:11:20

Serial DE121D8EA02040570001101C

Host Encryption 0

Key Status 0

Hosts 0

Connections 0

Tags: Rubrik anomaly As of May 9, 2025 | <https://www.example.com/anomaly2>
Rubrik quarantined As of May 9, 2025 | <https://www.example.com/quarantined2>
testkey1 testvalue1
testkey2 testvalue2 testkey3 testvalue3

QoS

Bandwidth Limit -

IOPS Limit -

Priority Adjustment + 0

Priority 0

タグ付けにより
感染有無の判定が容易



半導体価格の影響を 如何に対応するか

読めない需要 × 読めない単価 + 5年ごとのデータ移行

同じ容量なのに、次の更改で

“**想定外の値上がり**”を経験していませんか？

- 半導体価格・為替の乱高下が、IT 予算を直撃
- AI 需要の急増により、必要な容量の予測も困難に

いつまで続けますか？

“**5年ごとの大規模データ移行**”

- 5年ごとの更改のたびに大規模なデータ移行
- 夜間・休日作業、部門調整、IT 部門の人手と時間を大量消費

“箱を買い続ける前提”が、CIO にとって最大のリスクに



価格変動
のリスク

知見を外に
出さない

5年ごとの
データ移行



価格は固定

- 単価を、契約期間中+拡張時+更新時も維持
- 半導体価格・為替が変動しても「あとから値上げ」なし



自社内設置

- ハードウェアは
お客さま DC / 工場内に設置
- データと知見は
社外に出さない



データ移行不要

- コントローラ+メディアを
ローリング更新
- 5年ごとの大規模データの
引っ越し作業が不要



安定稼働の実績

99.9999% 以上の可用性の実績

価格は固定、データは動かさず、基盤は永遠に新しい

Evergreen//One™ オプション・アドオン

サイバーレジリエンス・アドオン

お客様がランサムウェア攻撃や災害に遭った場合、Everpure は以下を実施：

- 翌営業日にクリーンな新規アレイを出荷
- SafeMode スナップショットからの復旧を支援
- 復旧時のデータ転送速度を保証
- 可能な場合、元の機器を回収



AI時代のビジネス課題を Everpure が解決します

絶対的な安定稼働と TCO

次世代アーキテクチャへの移行

サイバーレジリエンスと事業継続

AI 活用に向けたデータ整備

